



GREEN×EXPO 2027の 取組について

議題 1

GREEN×EXPO 2027の取組状況について



GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会) 概要



名称

日本語：2027年国際園芸博覧会
略 称：GREEN×EXPO 2027

位置付け

- 最上位の国際園芸博覧会 (A1)
※ A1は、我が国では1990年の国際花と緑の博覧会 (大阪市)
- 国際博覧会に関する**条約に基づく認定博覧会**

テーマ

幸せを創る明日の風景
～Scenery of the Future for Happiness～

基本事項

開催場所：神奈川県横浜市 (旧上瀬谷通信施設の一部)
開催期間：2027年3月19日～9月26日 (192日間)
参加者数：1,500万人 (有料来場者数1,000万人以上)
開催者：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

事業費

会場建設費：最大 417 億円
運 営 費： 360 億円

会場位置図



EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

【公式ロゴマーク】

- 国際博覧会は、次世代の課題解決に向けた取組を加速させる重要な契機。
- 花や園芸に留まらず、気候変動や生物多様性などの地球規模の環境課題にも焦点を当てて開催。

プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）



気候変動や生物多様性の損失などの地球規模の環境課題が顕在化。

地球が直面する危機がもたらす私たちの暮らしへの影響

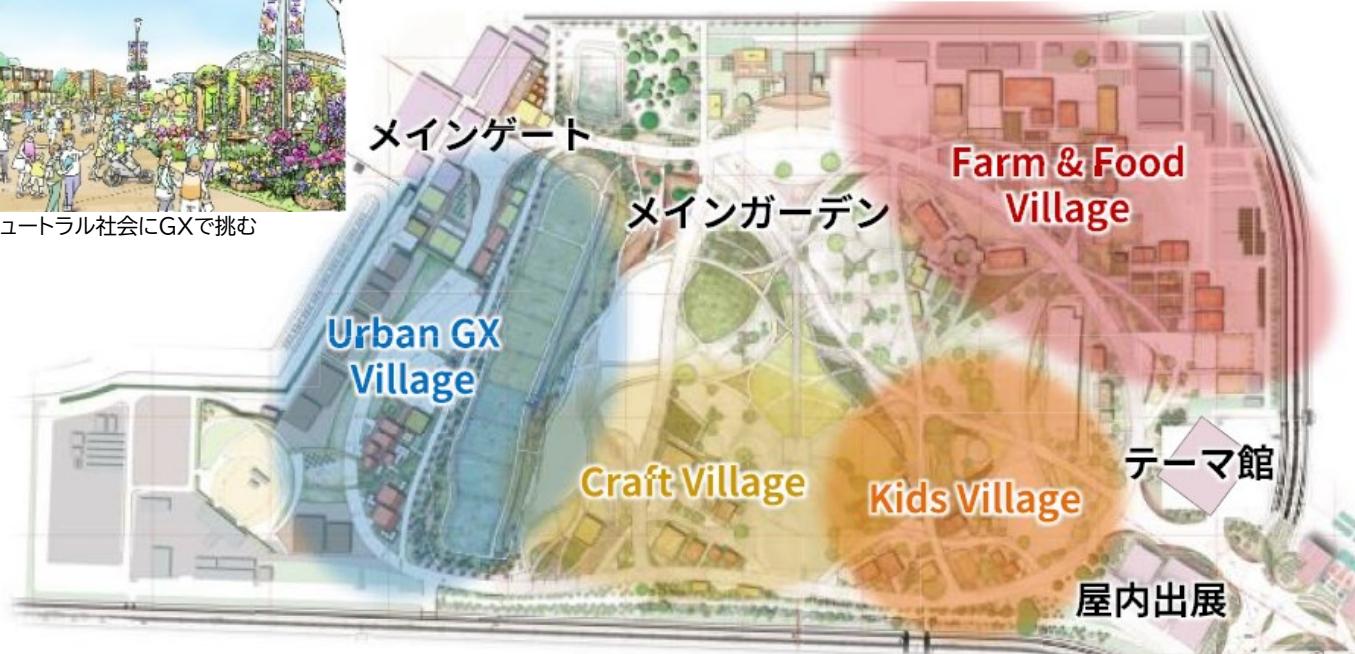


(グリーンエクスボニーゼロニーナ)

GREEN×EXPO 2027

花や緑、農、食など、「自然」や「環境にやさしい」取組と連携し、
市民や企業、地方公共団体等との共創・交流の舞台を創造することで、
あらゆる参加者の共感や学び、歓びを喚起し、
おのずから未来の行動につなげ、
グリーン社会の実現、地方創生を目指す。

GREEN×EXPO 2027 会場計画図



自然とのつながりの中で育まれた智慧・技術と出会う

これから地球を生きる子どもたちが自然と世界を学ぶ

政府出展の概要（国交省・農水省）

- GREEN×EXPO 2027では、国交省と農水省が連携して政府出展を実施。有識者による懇談会等を通じて詳細検討中。
- 「日本の自然観を再考し、未来へ進む」というコンセプトの下、日本の自然観に加え、新しい農業技術やグリーンインフラ等に関する屋内・屋外での展示を予定。
- 政府出展は、出展区画として最大の2.5ha。建築面積は約3,700m²。
- 現在、建築の発注手続き、庭園の実施設計、屋内展示の基本設計を実施中。本年夏以降に、建築及び庭園の工事を開始予定。

■平面図（現段階のイメージ）



■会場イメージ



政府出展区域北西側からの眺め

- 東西に分棟する木造建築と、日本の庭園の伝統技術等を取り入れた庭、いけばな・盆栽等の実物展示により、日本に受け継がれてきた自然観や、文化・芸術、里山の風景などを表現。
- また、緑の持つ機能や役割を再認識し、地球規模の課題への取組を提案するため、展示を通じて、グリーンインフラや最先端の農業技術等について発信。



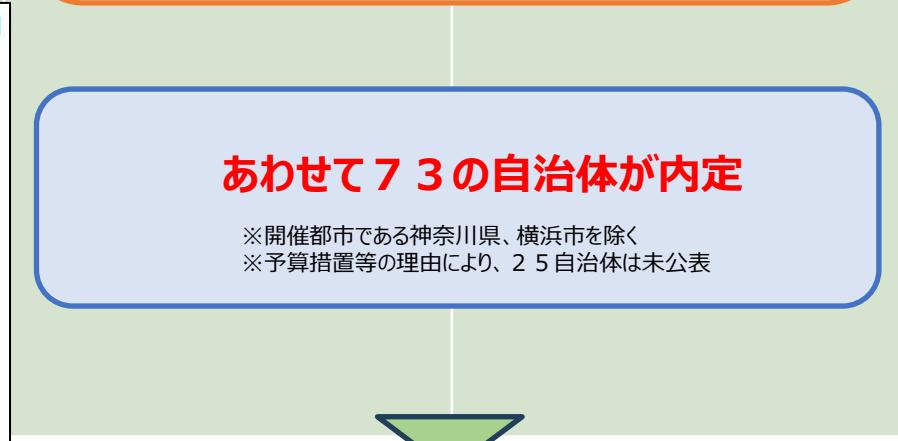
屋外展示（庭園）（イメージ）



屋内展示（イメージ）

Village出展	テーマ営業出店 (飲食等提供)	【屋外】 (庭園等)	【屋内】 (生花・盆栽・庭園等)
1,000~3,000m ² ／区画 (有料)	1,000m ² ／区画 (有料)	25m ² ／区画 (複数使用可)	20m ² ／区画 (複数使用可)

<p>東急グループ、KTグループ、 NTT東日本、大林組、 三菱グループ、鹿島建設、 大和ハウス、東邦レオ 竹中グループ、住友林業 相鉄HD、清水建設 三光ソフランHD</p>	<p>JAグループ、丸兆、明治グル ープ、山崎製パン</p>	<p>【企業・団体・個人】 あわせて287件が内定 (125件) (175件)</p>
		<p>18件が屋外・屋内の両方に内定</p> <p>※5件が未公表</p>



機運醸成の取組

○ 機運醸成のため、以下のような取組を実施。



■公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」



■特別仕様ナンバープレート
(7月14日から交付開始)



■自然・環境等に関するシンポジウム
等の開催
(園芸博覧会協会HPより)



■ラッピングバス
<横浜市交通局、相鉄>
(横浜市交通局Xより)

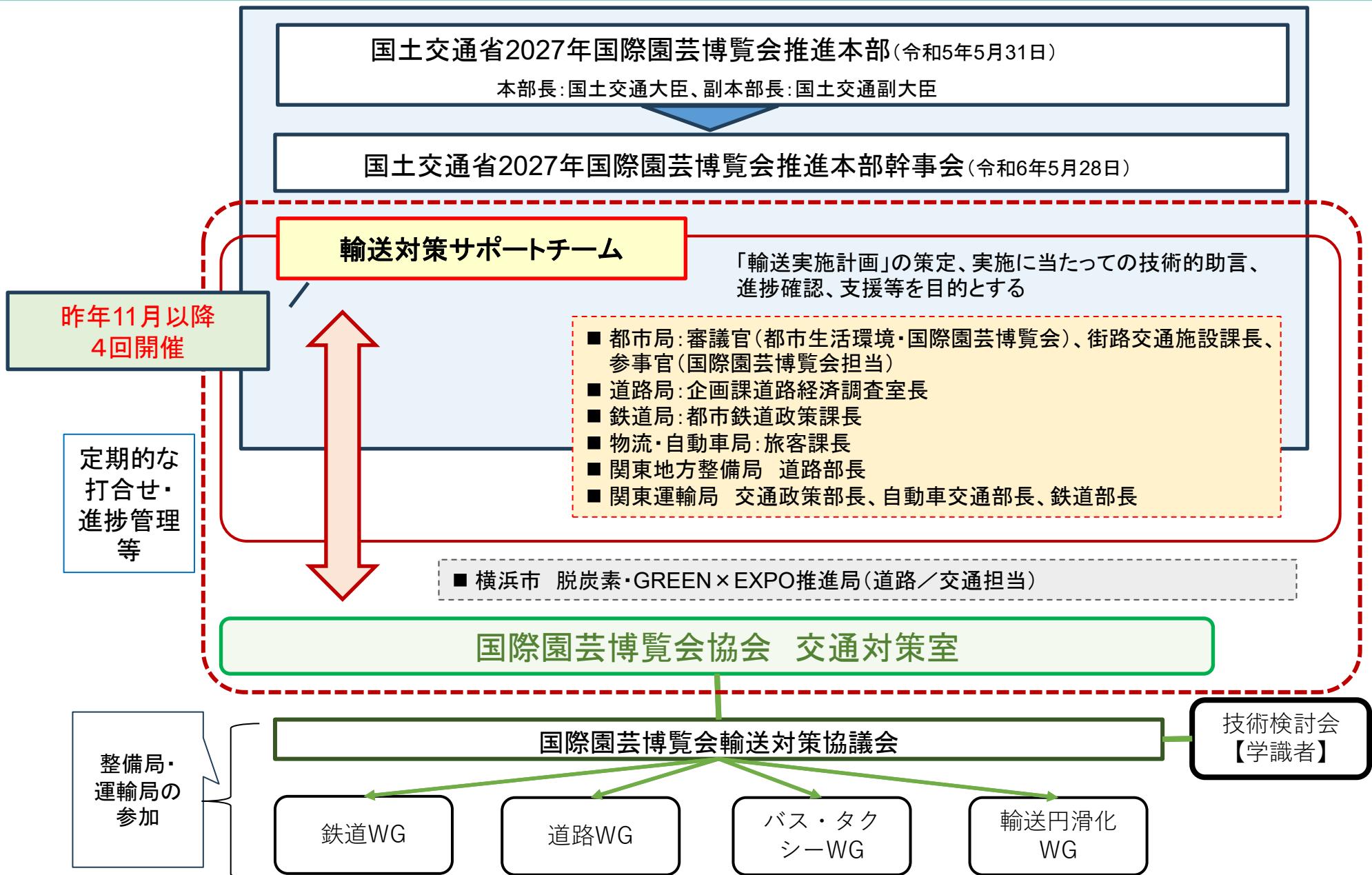


■鉄道駅の駅名標・階段広告
(園芸博協会・横浜市HPより)



■国営公園でのPR

輸送対策に係る省内推進体制



議題 2

GREEN×EXPO 2027への協力のお願い



各局への協力依頼

- 開催まで2年を切った現在、「国内外の機運醸成」や「海外の参加招請」等に関する取組を強化していくことが必要。



GREEN×EXPO 2027の開催に向け、以下に各局からのご協力をいただきたい。

機運醸成

海外の参加招請

行催事の開催

政府出展等での情報発信

①機運醸成のお願い

大阪・関西万博における各局の取組も参考に積極的なご協力をお願いしたい。
また、所管の関係団体におけるご協力もお願いしたい。

ポスター・チラシ等

- 各地方整備局等へのポスター掲示を依頼予定。
- 各局の関係機関・団体等においても積極的なポスター等の掲示やロゴ入り名刺の使用のご協力をいただきたい。



イベント等でのPR

- 会期前を含めて、各局等が実施するイベントにおいて、GREEN×EXPO 2027のPRを実施いただきたい。
- ポスター等の掲示、動画の放映、園芸博覧会協会によるブースの設置等にご協力いただきたい。
- 海外旅行博等、インバウンドに係る情報発信にご協力いただきたい。

特別仕様ナンバープレート

- 5月3日にGREEN×EXPO 2027特別仕様ナンバープレートのデザインを公表。
- 交付期間：2025年7月14日（月）～2027年11月30日（火）
- 大阪・関西万博のナンバープレートを取り付けている公用車については、大阪・関西万博閉幕（10月13日）後に順次付け替えをお願いしたい。



民間・関係団体への働きかけ

- GREEN×EXPO 2027に関する情報について、所管の民間企業、団体等に周知いただきたい。
 - GREEN×EXPO 2027の趣旨に賛同し、協賛※等に関心のある民間企業、団体等があれば、ご紹介いただきたい。
- ※機運醸成（交通広告等）、暑熱対策、会場整備（環境配慮型製品等）など

○地方支分部局におけるPR

※大阪・関西万博の取組に係る資料を基に都市局にて作成

- ・ 本局におけるポスター掲示やミヤクミヤクの展示
- ・ 事務所窓口におけるポスター掲示やミヤクミヤクの展示
- ・ 運輸支局における車検・ナンバー交付の機会を捉えたPR

○海上保安庁音楽隊による万博テーマソング「この地球の続きを」の演奏

○空港、港湾、道の駅、川の駅、みなとオアシス、国営公園等における地方公共団体等と連携した周知活動

○公用車の大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートへの変更

○地方支分部局管理アカウントも含めた、SNSにおける大阪・関西万博関係投稿のリポスト

○国交省主催の検定試験・資格試験のHPにおける周知

- ※ 公共交通事業者や関連団体に対する周知要請は継続的に実施
- ※ JNTOによる万博を契機とした訪日外国人旅行者の地方誘客に向けたポータルサイト等の周知については継続的に実施

③行催事の開催(会場と外部会議との連携)のお願い

国際会議等の横浜市等での開催

GREEN×EXPO 2027 開催期間中の国際会議をはじめとする各種会議等を会場近郊（みなとみらい等）で開催し、エクスカーション等として活用することをご検討いただきたい。



(例) パシフィコ横浜

※連携

- ・エクスカーション
- ・サテライト化 等

